ルクセンブルク経済・金融情勢（2013年9月後半）

1. 経済

- 中国河南省の代表団及び中国投資家グループが当国を訪問し、フィンデル空港の物流センターを見学。同投資家グループは、当国が所有するカーゴルクス社株式35%の潜在的な売却先の一つ。（16日付公共事業省コミュニケ）
- EasyJet社、12月よりルクセンブルクーリスボン間を週3便で就航開始予定である旨発表。（19日付ル・コティディアン紙）
- ルクセンブルク観光局、1月から8月にかけて438,319人にサービスを提供した旨発表（前年同期比5.5%増加）。（19日付ル・コティディアン紙）
- セメント大手のホルシム社（本社スイス）、ルクセンブルクにおけるシェア拡大のために、当国南西に位置するシフランジュにセメント工場を27日に開設。（19日付ヴォルト紙電子版）
- 8月の失業率は6.9%（前月は7.0%、前年同月は6.1%）。（23日付統計局プレスリリース）
- 9月の消費者信頼感指数は▲2（前月は▲7）で2ヶ月連続で改善。また、同値は2011年9月以来の高水準。（30日付中央銀行プレスリリース）

2. 金融

- 証券監督者国際機構（IOSCO）の第38回総会が15日から19日にかけてルクセンブルクで開催。（19日付ル・コティディアン紙）
- ストロス・カーン前IMF専務理事、ルクセンブルクの投資銀行であるアナテフカ（Anatevka）の取締役会長に10月18日付で就任する旨、同氏の弁護士が発表。（25日付ヴォルト紙電子版）

3. 政府

- フリーデン財務相、香港の區璟智（AU King Chi）財經事務及庫務局常任局長及びLiu Xinhua中国証券監督管理委員会副主席と17日に会談。（17日付財務省コミュニケ）
- モデルト法務相、欧州検察庁設立に対し支持を表明し、同機関をルクセンブルクに設立するよう提案。（19日付政府公報）
- シュナイダー経産相及びヴィズラー公共事業相、2004年に開始した物流・運輸セクター行動計画の総括を発表。2004年以降、同セクターにおいて830の新規雇用、合計13万平方メートルの物流用地の創設が実現しているのは前向きな成果であると評価。（19日付経産省及び公共事業省コミュニケ）

ケ)

●シュナイダー経産相、EU競争担当相会合に出席。(26日経産省コミュニケ)

●ユンカー首相、オランダ仏大統領と仏メッスにて26日に会談し、鉄鋼業支援につき協議。(26日付首相付コミュニケ)

※ 当国政府機関の公表資料や各種報道等の公開情報を取りまとめたもの。